

## 指導部だより

指導部高等学校教育指導課 課長代理 並木 功

平成30年3月に告示された高等学校学習指導要領が、令和4年度から年次進行で施行されます。今回の学習指導要領の改訂においては、カリキュラム・マネジメントに資する観点から、教育課程の実施及び学習評価について独立して項目立てが行なわれ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善及び学習評価の充実について規定されました。

そこでは、各教科等の目標及び内容が、育成を目指す資質・能力の三つの柱に沿って整理され、各教科等でどのような資質・能力の育成を目指すのかが明確化され、これにより子どもたちの学習の成果を的確に捉え、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図る、いわゆる「指導と評価の一体化」の更なる推進が期待されています。

また、子どもたちや学校、地域の実態を適切に把握した上で教育課程を編成し、学校全体で教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」についても明文化され、カリキュラム・マネジメントの一側面として、学習評価を基に教育課程の改善・充実を図るというPDCAサイクルを確立することが重要と示されています。

令和3年8月には、国立教育政策研究所が、答申や通知を踏まえて、高等学校版の『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』を作成し公表しました。参考資料では、第1編の総説に続き、第2編で「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する際の手順、第3編で「単元ごとの学習評価について(事例)」が記載されています。高等学校数学の事例としては、数学Ⅰ「図形と計量」の単元を例として、「単元の目標や単元の評価規準の設定」から、「指導と評価の計画の作成」、「観点別学習状況の評価の進め方」、「単元における観点別学習状況の評価の総括」に至る流れを示した事例を挙げるとともに、三つの観点の評価の進め方については具体的な場面を取り上げて簡潔に示し、単元における総括の進め方については複数の方法が例示されています。また、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の評価についても具体的な事例が取り上げられています。

東京都教育委員会においても、令和4年度から全ての学校において、観点別学習状況の評価が適正かつ効果的に実施できるように、今年度各教科等で、学習評価の在り方検討委員会を設置して、資料の作成を行っています。内容は「評価の基本的な手順」「実践事例」「評価解説動画」等の予定であり、国立教育政策研究所の参考資料と合わせて、各学校で活用していただきたいと思っております。

東京都高等学校数学教育研究会の皆様には、作成資料を基に、新学習指導要領の趣旨に沿った観点別学習状況の評価の導入と実施に向けて、各学校における教科会等を通じて、評価と評定の基準の作成に向けた校内体制の整備を推進していただきますようお願いいたします。

また、今後とも東京都教育委員会の取組について御理解いただくとともに、数学教育の充実に御尽力くださいますようお願いいたします。

## 東京都教職員研修センターだより

研修部専門教育向上課 指導主事 小磯 亮平

前号では、今年度教職員研修センターで実施する高等学校数学に関する講座を御案内いたしました。今号と次号の2回にわたり、それぞれの研修内容について御紹介いたします。

なお、今回御紹介する研修の実施日は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言期間であったため、研修動画を撮影し、受講予定の皆さんには後日視聴していただく形態をとりました。

## 研修名【数学Ⅰ】

## 「数学科指導スキルアップ講座(高等学校)」

## —数学科 授業づくりの基礎・基本—

数学的活動について理解を深め、数学の授業づくりの基礎・基本を学びます。

撮影日：令和3年7月12日(月)

講師：文部科学省初等中等教育局主任視学官 長尾篤志先生

本研修では、長尾主任視学官から「数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実」について具体的な御指導をいただきました。

単元の指導計画の作成、指導計画の評価規準の作成という2つの演習から、「指導のPDCAサイクルを意識し、授業を改善する」ことの重要性を再認識するという内容です。

まとめとして、以下の3点が示されました。

- ・生徒の実現状況を的確に把握することが評価の改善につながる
- ・「算数・数学の問題発見・解決の過程」の図を踏まえ、生徒が課題に対し目的意識をもって学習するよう工夫する
- ・授業では目標と評価規準を明確にする。特に、評価規準は具体的な生徒の姿で設定しておく

## 研修名【数学Ⅱ】

## 「生徒が数学の有用性や実用性を認識する指導の工夫」

学習指導要領の目標を踏まえ、多様な生徒の実態に対応した授業展開や指導の工夫について学び、指導力の向上を図ります。

撮影日：令和3年9月30日(木)

講師：明治大学 教授 阿原一志先生

本研修では、阿原教授から「新学習指導要領で求められる数学の授業展開と指導の工夫」について、新学習指導要領で重視されている統計分野の内容について重点を置き、御指導をいただきました。特に、数学Ⅰ「データの分析」に、数学Bの仮説検定の前段的な内容として加わった「仮説検定の考え方」について、具体例を基に御指導をいただきました。

また、学習指導要領解説に示された、「算数・数学の問題発見・解決の過程」の図におけるそれぞれの場面について、具体例を交えて分かりやすく解説していただきました。

残る数学Ⅲの御紹介は次号で行います。